

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
育成支援 ラ・ポーズ		2025年 2月 15日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		運動専門スペースや図書室もあり十分に適切である	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○	○	充分である	今後利用児が増えることを考えると職員を増やしていく事が望ましい
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	建物の構造上バリアフリー化は難しいが、1人当たりのスペースは広くとれている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日掃除を行い子どもたちが過ごしやすい環境作りに努めている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		感情が高まったりした際はクールダウンできるよう個別の部屋などがある	今後パーテーション等も設置して改善に努めていく
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎日のミーティングや職員会議等で情報共有を行っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員間で評価表を確認し、保護者のお困り感や要望などを把握し改善策の話し合いを行っている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		支援終了後ミーティングを行いその日の出来事や気になることなどを話し合い全体で情報共有を行っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		資格研修などを受けてそこで学んだことを全体に周知する場を設けている	研修会等をもう少し多く取り入れていこうと思う
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○	現在作成中	令和7年2月末までにホームページに公表する
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		モニタリング等を行い利用者と保護者に寄り添いながら支援計画を作っている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		全職員で共通理解し、個々に合った支援計画を作成している	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		子ども達一人ひとりに合った支援を行っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		ツール機能を用いて作成し考慮していく
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		子どもたち一人ひとりに合わせたニーズの元支援内容を決めている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		ローテーションで行い職員善田で共通理解を得ている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	○	主としての活動にプラスして個々の要望を取り入れたか活動やその子に合わせた支援内容を取り入れて行っている	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別支援計画を元に一人ひとりに応じた支援を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		ミーティングを行い情報共有を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後ミーティングを行い、情報交換を行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援終了後日誌を記入しミーティングで情報共有と改善策の話し合いを行っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		児発管を中心に計画の見直しなどの行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		中でも自立支援と日常生活の充実に注力している。それにプラスして個々に合わせて必要なものを取り入れている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。		○	職員主体になる時があったりする	子どもたちの要望に耳を傾けて子ども主体の活動に努めていく
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		開催された際は児発管と現場の保育士2名以上で参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		教育連携を月1で行っている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		教育連携をとり年間行事や下校時間等を把握している	今後も連携をとり密な関係を作っていく
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○	別の放課後等デイからの利用者が多くそちらの方で情報共有を行っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		移行先との連携をとり児童の特性などを伝えて情報共有を行っている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	連携がうまくとれていない	機会を設けて取り行っていく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		併設している児童クラブと交流の場を設けている	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○	現在招待されていない	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎時や連絡ツールを用いて様子を伝えたり保護者のお困り感を聞いたりしている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		情報共有という形で保護者会などを開催している	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		児発管が行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリング等を行い利用者と保護者に寄り添いながら意向をしっかりと確認している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		児発管が個別支援計画を作成し保護者には同意、署名を頂いている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		家族支援加算という形で悩みのある保護者に対し聞く場を設けている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		長期休みを利用して保育参観、保護者説明会を行っている	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情受付に関しては契約時にも丁寧に説明を行っている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		活動の様子や写真等を保護者に連絡ツールを用いて送っている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付き収納ボックスに必ず直して管理している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		先に保護者や子どもの話を聞いてこちらから話をするときは簡潔にわかりやすいようかみ砕いて説明を行う	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域の行事等に参加してコミュニティの場を広げていく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアル作成後職員で共通理解する場を設けて年に2～3階訓練を行う	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		マニュアル作成後職員で共通理解する場を設けて年に2～4階訓練を行う	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		現在なし	今後の対応をして入所前に必ず聞き取りを行う
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		入所前にアレルギー表を記入してもらいそれに応じておやつ提供を行っている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○		計画作成は行ったものの、その研修準備が不十分な為、今後の課題に努めていく
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		写真等を送ったり説明会等で保護者には話している	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		報告書を記入し、職員全体で情報共有を行う	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修機会を設けて情報共有を行いマニュアル確認を行っている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		必要な場合はマニュアルに従い記録と保護者への連絡を行うようにしている	